

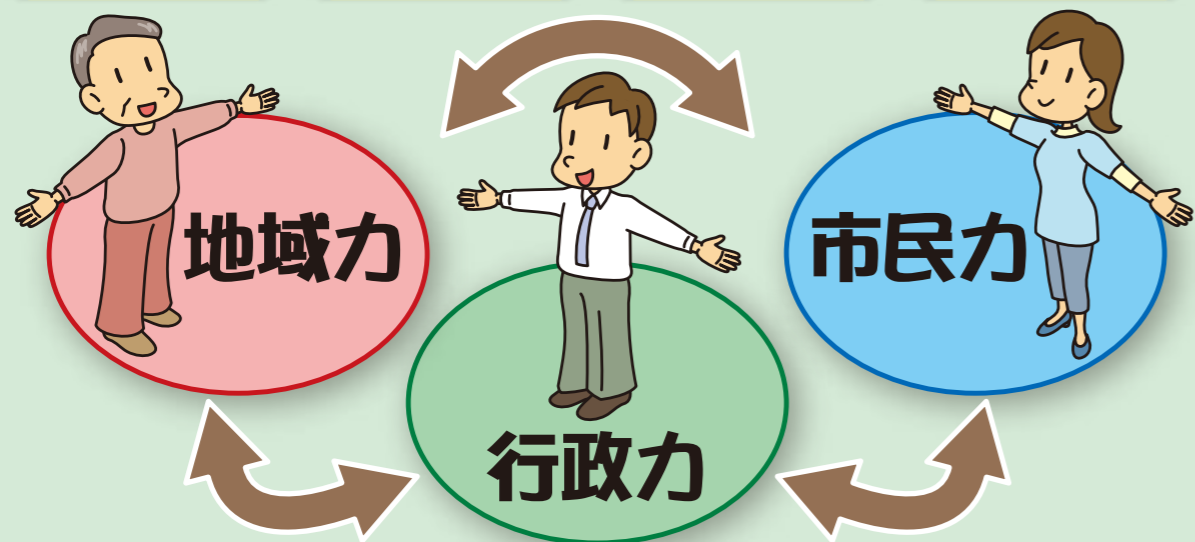
「私たちの政府」が創る、いまでも未来も住み続けたいまち  
「湘南ふじさわ」の実現

藤沢市新総合計画  
ふじさわ未来課題の実現

## 私たちの政府

市民、地域と行政とが協力し合い課題に立ち向かう新たなしくみ

新しい公共 地域経営 地域分権 広域連携



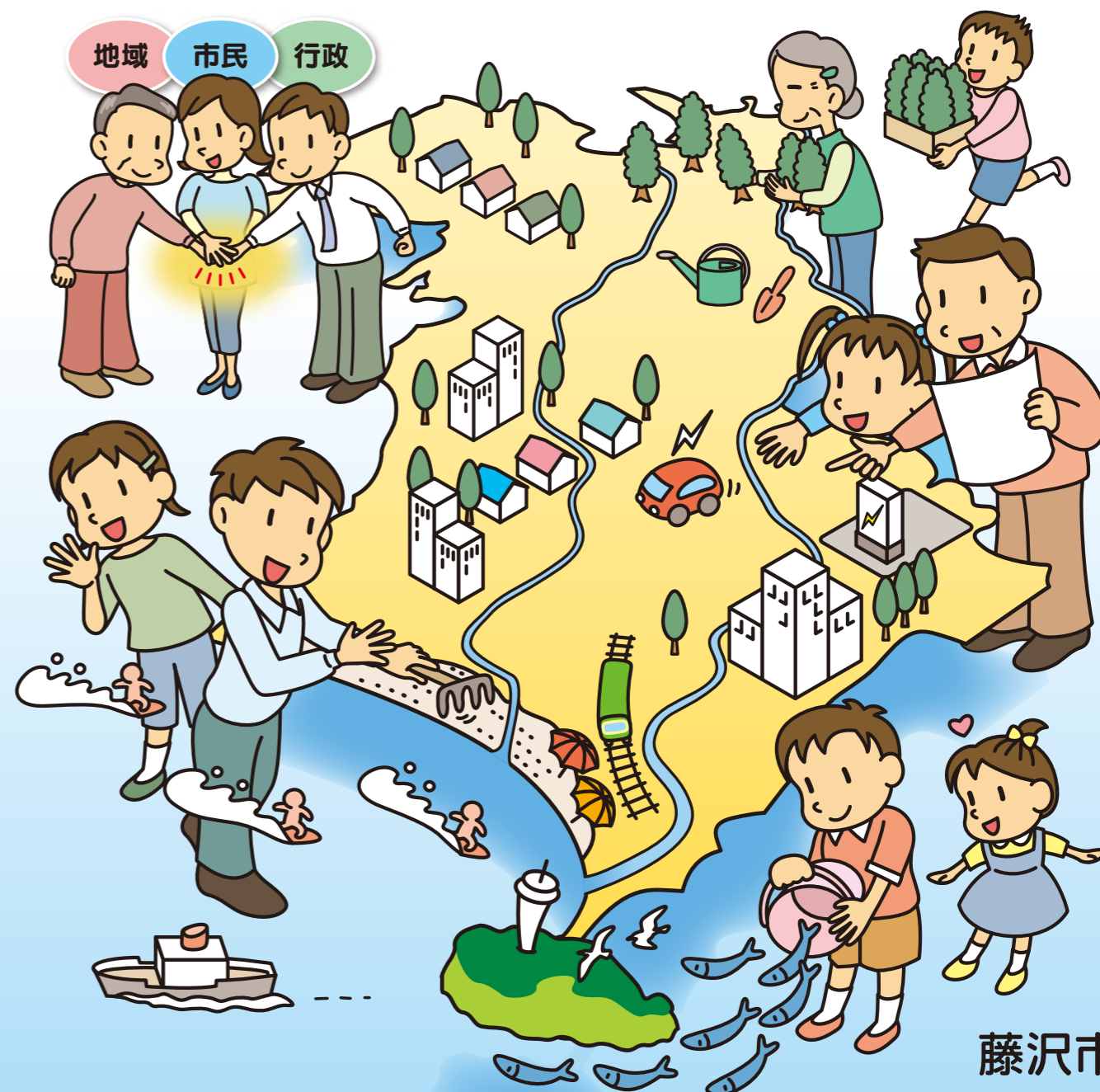
### 藤沢を取り巻く現状と課題

- 人口減少と少子高齢社会の到来 (げんしょう しょうし こうれいしゃかい どうらい) 生産年齢人口の減少 (医療・福祉など) 社会保障費の拡大
  - 経済情勢・産業構造の地殻的変動 (けいざいじょうせい さんぎょうこうぞう ちかくてきへんどう) 産業の空洞化 雇用の減少
  - 社会資本の老朽化・陳腐化 (しゃかいしほん ろうきゅう ちんぷ) 公共施設の再構築 都市基盤施設の更新
  - 財政状況の悪化 (ざいせいじょうきょう あつか) 財政の圧迫 市民サービスの維持
  - 土地利用及び都市基盤の整備 (とちりよう としきばん) 都市基盤整備 自然環境の保全形成
- など  
さまざまな地域課題の発生

- 市民力  
市民のみなさん
  - 地域力  
自治会・町内会・市民活動団体・ボランティア・NPOなどの活発な活動
- 藤沢の市民参加  
市民自治の歴史と蓄積 (ちくせき)

# 私たちの政府が創る いまでも未来も住み続けたいまち 湘南ふじさわ

藤沢市新総合計画基本構想副読本



藤沢市



# 私たちがめざす藤沢の未来と新しい総合計画

## 総合計画の目的

私たちがくらす藤沢市。このまちのよりよい未来の姿を実現していくために、私たち市民が、「藤沢市の最も基本となるまちづくりの考え方を表した計画」を知り、みんなで同じ考えをもち合うことはとても大切です。

藤沢の20年後を考えたとき、私たちがどのように考え、何をめざし、何をこなすのかをまとめたものが「総合計画」です。

## この本でわかること

この本は、藤沢市に住んでいる子どもたちをはじめ、すべての市民のみなさんのためにつくられました。藤沢の未来への「地域づくり」や「藤沢づくり」とともに考え、ともに参加していただけるよう、総合計画の基本構想をわかりやすくまとめたものです。

### 目的1「時代の変化に対応できるしくみをつくること」

現在の社会や経済が10年後・20年後にどうなるのか、私たちにはどういう未来が待っているのかは、だれにもわかりません。そこで、データや調査だけでなく、さまざまな活動をされているひとや多くの市民のみなさんから意見や情報を集め、藤沢のこれからの時代の変化に柔軟に対応できるしくみを整えました。

### 目的2「市民・地域と行政のそれぞれの役割を活かし、協力を強めるしくみをつくること」

この総合計画は行政だけでなく、市民のみなさんにもまちづくりに参加していただくためのものです。みんなが協力し合うことで、より強いしくみが生まれます。そのしくみを、「私たちの政府」が創る藤沢づくりとして考え方を整理しました。

### 目的3「市民のみなさんに藤沢の未来を一緒に考えていただくこと」

この総合計画は市民のみなさんに目とおしていただき、いっしょに藤沢の未来のことを考えていただくことを基本に整理しました。

総合計画は、市民のみなさん、地域のみなさん、そして行政が力を合わせる、いままでにないしくみです。この藤沢市の新しい挑戦が、可能性にあふれた未来の地域づくり、そして藤沢づくりを実現していくこととなります。



## 市民のみなさんの総合計画

市民のみなさん、地域のみなさんと行政が協力して、この20年先をみすえた「地域づくり」と「藤沢づくり」※1を推進するための計画として整理しました。

## メモ

### ※1「地域づくり」と「藤沢づくり」:

市民のみなさん、地域のみなさんと行政が、それぞれの地域が持つ自然、歴史、文化などの地域資源や魅力を活かして、それぞれの地域に応じた地域のまちづくりをすすめていくことを、「地域づくり」といいます。

また、地域のまちづくりとあわせて藤沢市全体の生活・産業・交通などの環境を整え、市民のみなさんの暮らしやすさを向上し、活力を生むまちにしていくための市全体のまちづくりのことを、「藤沢づくり」といいます。

## 総合計画の全体のながれ

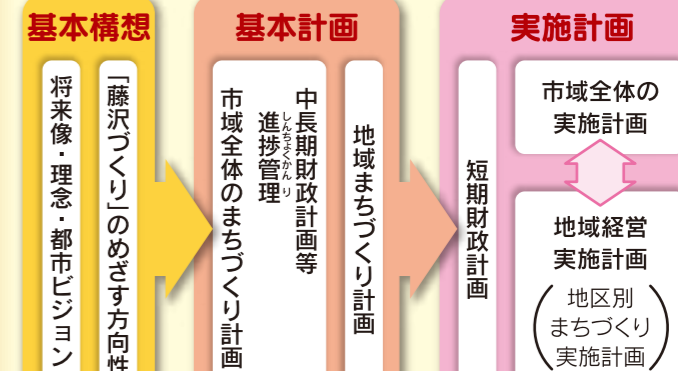
総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」の3つで構成されています。

総合計画では、市民のみなさん、地域のみなさんと行政が協力し、地域づくりや藤沢づくりをすすめていくための将来像、目標や方向性が示されています。



## 新総合計画の構成

### 理念と目標の共有



### 1 基本構想 ～湘南ふじさわの未来へ向けた構想～

藤沢の20年後(2030年度/平成42年度)までをみすえ、藤沢市のめざす将来像と将来像を実現していくための基本理念や都市ビジョン、そして9つの「藤沢づくりのめざす方向性」を明らかにしています。また、「私たちの政府」が創る、いまま未来も住み続けたいまち「湘南ふじさわ」を実現していくためのしくみなどが示されています。



### 2 基本計画 ～地域づくりと藤沢づくりの基本となる計画～

基本計画は、基本構想の将来像、基本理念、都市ビジョン、藤沢づくりのめざす方向性を受けて、「ふじさわ未来課題」を解決していくために必要な目標や活動の方針を、市域全体、地域ごとのまちづくり計画として示しました。また、12年の計画期間の活動をうらづけるための財政計画が示されています。

行政は、藤沢づくりの将来像の実現のための基本となる方向を示した、「市域全体のまちづくり計画案」をつくりました。各地区の地域経営会議と市民センター・公民館は、地域づくりの方向性を示した「地域まちづくり計画案」をつくりました。

そして総合計画審議会でくわしく検討や議論が行われ、基本計画となり、それぞれの計画は車の両輪となり、力強く藤沢づくりをすすめていくものとなります。



### 3 実施計画 ～具体的な事業や活動を明らかにした計画～

各地区の地域経営会議と市民センター・公民館は、地域の市民のみなさんの意見をききながら、「地区別まちづくり実施計画案」をまとめました。

行政は、市民のみなさんの意見をききながら、市域全体の実施計画案をまとめ、市長が実施計画と3年間の財政計画をつくりました。この実施計画は、1年ごとに事業や活動の進捗管理※2をおこない、次の実施計画へつなげていきます。



## メモ

※2 進捗管理: 実施計画は、1年ごとに実施した事業や活動のチェックをおこない、そして悪いところをよしたり、変更して次の計画へつなげることをくり返します。

この実施計画を見直しながらかりと計画をすすめることを進捗管理と言い、PLAN(計画)→DO(実施)→CHECK(チェック・評価)→ACTION(改善)の頭文字をとって、PDCAサイクルとも言われます。



# 藤沢づくりに必要な3つの「力」

この総合計画は、「市民力」「地域力」「行政力」の3つの力を合わせてつくられました。



**市民力**  
市民のみなさんの知識や経験などを藤沢づくりに活かしていく、さまざまな「力」のことです。総合計画をつくる過程では、市民のみなさんの意見を活かすための討論型世論調査や、パブリックコメント\*3、全体集会などとおして市民力が発揮されました。将来像をめざして、地域づくりと藤沢づくりを実現していくためには、さらに大きな「市民力」が大切な役割をにないます。



**地域力**  
それぞれの地域のみなさんが、ともに助け合い、協力して地域の課題を解決していく、さまざまな「力」のことです。地域のまちづくりや市域全体のまちづくりの計画づくりでは、各地区の地域経営会議と、その推薦委員や公募市民で構成する地域経営戦略100人委員会などとおして地域力が発揮されました。地域づくりと藤沢づくりを実現していくためには、さらに大きな「地域力」が大切な役割をにないます。



**行政力**  
市民のみなさんの意見や各地域との話し合いをもとに、行政の職員が一丸となって知恵をしまりながら計画をまとめる行政の「力」のことです。この総合計画をつくる過程では、特に若手職員による「わいわい・がやがや・わくわく会議」などとおして行政力が発揮されました。地域づくりと藤沢づくりを実現していくためには、活力のある「行政力」が大切な役割をにないます。

「市民力」「地域力」「行政力」は、ともに協力し合い、行政は行政の役割をしっかりとにない、よいところをさらに引き出すしくみです。それぞれがまちづくりをすすめていく中で、さまざまな工夫や知恵をともに学びながら、市民のみなさんのことをいちばんに考えた「藤沢づくり」へと発展させていきます。

## メモ

\*3 パブリックコメント：行政がさまざまなルールを決めたりなくしたりするとき、市民のみなさんから意見や情報提供をしてもらい、決定するときの参考にする制度のひとつです。

## 新しい総合計画を策定したときの「市民力」「地域力」「行政力」のかかりです



# 私たちの基本構想

## 基本構想の全体像

この総合計画の「基本構想」をわかりやすくまとめると、下の図のようになります。

### 「私たちの政府」宣言

- 「生活者の実感」で進める「藤沢づくり」をします。
- 「市民力」「地域力」「行政力」を発揮する「藤沢づくり」をします。
- 「私たちの政府」による自律と協働の「藤沢づくり」をします。

### 将来像

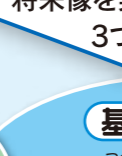
(20年後までの自律と協働の姿)

「私たちの政府」が創る、いまも未来も住み続けたいまち「湘南ふじさわ」

将来像を実現していくための3つの基本理念



**基本理念 1**  
地域経営による永続的な市民主体の「藤沢づくり」を実現します



**基本理念 2**  
市民と創る「自律するまち」の行政システムを構築します



**基本理念 3**  
協働して広域連携を展開します

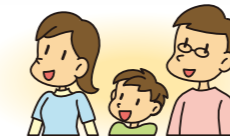
将来像を実現する「藤沢づくり」のめざす姿と活動

市民、地域と行政がめざす20年後までの藤沢の姿  
～ 藤沢の都市ビジョン ～

「藤沢づくり」のめざす方向性  
～ 20年後までの藤沢をめざして、いまから始める「藤沢づくり」～

### 都市ビジョン 1

市民の力が育てる生活充実都市



- 1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち
- 2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境
- 3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

### 都市ビジョン 2

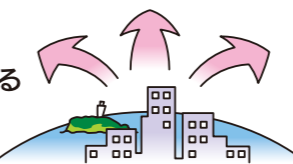
地域から地球に拡がる環境行動都市



- 4 共に生き、共に創る地域社会の創出
- 5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展
- 6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

### 都市ビジョン 3

さらなる可能性を追求する創造発信都市



- 7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生
- 8 公共資産の維持管理と有効活用
- 9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出



具体的な藤沢の未来をともにつくるための課題(ふじさわ未来課題)やまちづくりの目標などは、基本計画をごらんください。





## 「私たちの政府」宣言

藤沢市では、「市民集会」や「くらしまちづくり会議」など、市民のみなさんによる活動が30年以上つづけてきました。また市民のみなさんが中心となって活動されている自治会や町内会、市民活動団体、ボランティア及びNPOなどの活動も大変活発におこなわれています。さらにいま、新しい市民自治のしくみとして「地域経営会議」を中心とした、地域のまちづくりがはじまっています。



こうした、市民のみなさん、地域のみなさんと行政が協力し合い、藤沢の未来をともにつくるための課題「ふじさわ未来課題」にたち向かうしくみを、藤沢市では「私たちの政府」と名づけました。

目標としているのは、私たちの子や孫、そしてずっと先の世代まで「藤沢に住みつづけたい」と思えるような、豊かでくらしやすいまちづくりです。

「私たちの政府」を実現させて、自分たちでみぢかな公共のしくみをつくり、よりよい藤沢づくりへとつなげていく。それがこの総合計画がめざしている未来です。

市民のみなさん、地域のみなさんと行政の新たなしくみ「私たちの政府」を、ともに築いていくことを、私たちはここに宣言します。

## 私たちの政府ですすめる藤沢づくりとは

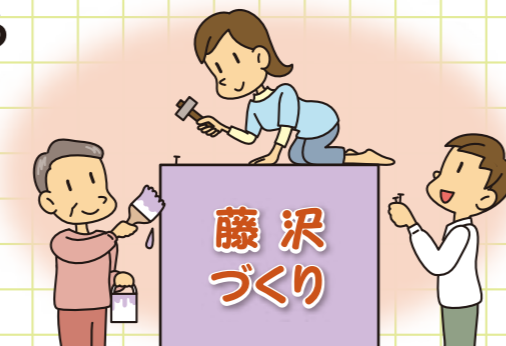
### 1 生活者の実感で進める藤沢づくり

まちづくりをすすめていくためには、藤沢でくらし、はたらき、学ぶひとたちの、生活者としての“実感”を知ることが大切です。そのうえで藤沢の未来をともにつくるための「ふじさわ未来課題」を明らかにし、みなさんが知恵を出し合い、役割を分け合ったり協力し合うことで、必要なものや新しいしくみをつくり出しながら解決していきます。そして、その結果をさらに調べたり、改善することが、未来の「藤沢づくり」につながります。



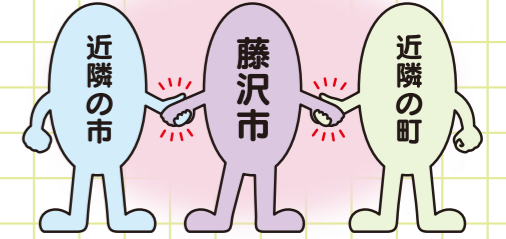
### 2 市民力、地域力そして行政力を発揮する藤沢づくり

市民力と地域力が藤沢づくりの最も基本となる大きな力です。「未来を考え、いま行動しましょう。」の考え方のもと、みなさんが主体となり藤沢づくりがすすめられることが大切です。行政は行政の役割をしっかりとない、そして藤沢づくりをすすめていくためのみなさんのパートナーです。



## 3 私たちの政府による自律と協働の藤沢づくり

藤沢市では、各地区の地域経営会議や市民センター・公民館を中心に、「地域分権」をすすめるとともに、同じ課題をかかえた地区どうしは協力し合います。また、藤沢市の中だけでは解決できない共通の課題は、隣の市や町と協力し合う広域連携をすすめることで、さまざまな課題を解決していきます。



### 地域分権

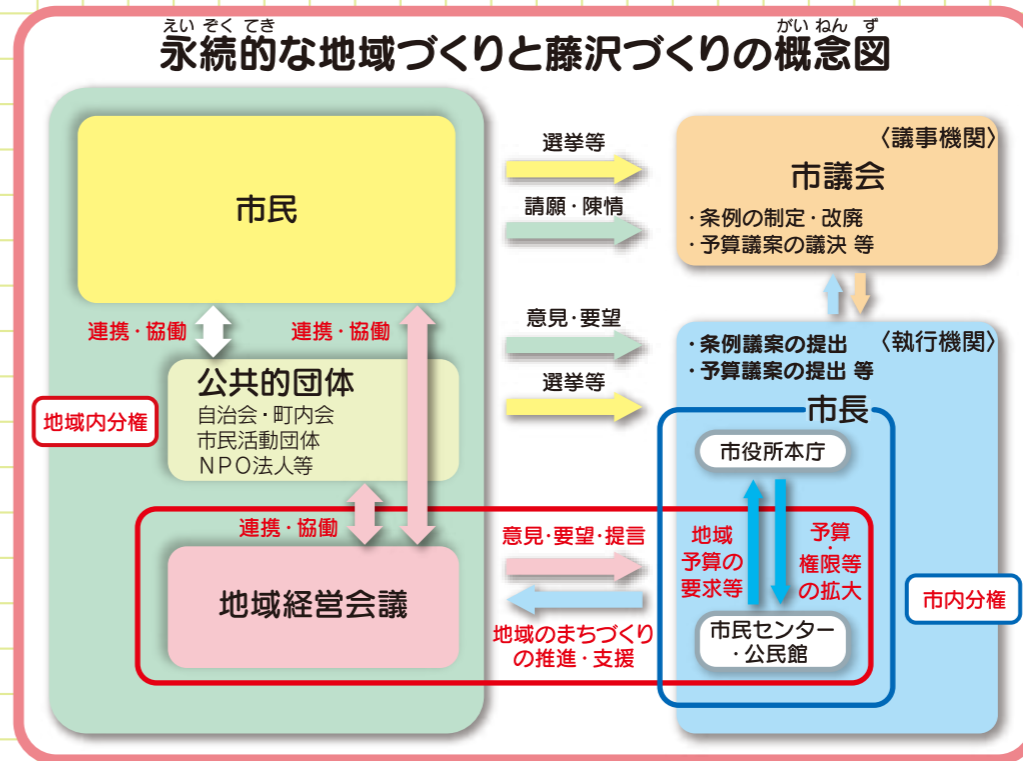
藤沢市では、市民センター・公民館の予算と権限などを拡大することを「市内分権」とよびます。さらに、地域経営会議と市民センター・公民館が、市民のみなさん、地域のみなさんと協力し合い、地域のめざす方向性を明らかにし、それぞれの役割と協力により地域づくりをすすめていくことを「地域内分権」とよびます。これらを合わせて地域分権とよび、積極的にすすめていきます。

#### 地域分権



## 私たちの政府による永続的な地域づくりと藤沢づくりのしくみ

地方自治では、市長と市議会議員は、それぞれが市民のみなさんの選挙により決められます。市長と市議会は互いに独立した関係に立ち、チェック・アンド・バランスの作用によって市民の利益を確保することが期待されています。私たちは、この地方自治のしくみをもとにして、「私たちの政府」による新たな地域づくりと藤沢づくりをすすめていきます。

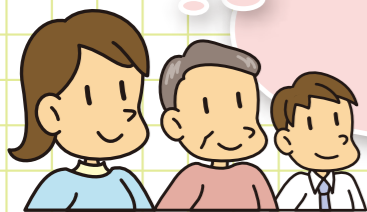


地域経営会議は、地域の課題、地域のあり方、将来の方向性等について、地域の市民のみなさんと協力し合い、さまざまな意見の集約をおこない、課題の解決に向け地域づくりをすすめます。行政は、市民のみなさんから、市の計画、事業等について、意見などをいただき、地域づくりと藤沢づくりをすすめるために必要な施策に反映します。また、行政は、地域経営会議に対して地域づくりと藤沢づくりをすすめるための支援等をおこないます。

※ 永続的な地域づくりと藤沢づくりを進めるしくみを、基本的な概念図として表現したものです。



私たちの政府が創る、  
いまでも未来も住み続けたいまち  
湘南ふじさわ



藤沢がめざす、明るく活力のある20年後の姿として、「私たちの政府」が創る、いまでも未来も住み続けたいまち「湘南ふじさわ」を、将来像にかかげました。

基本理念  
1

地域経営による永続的な市民主体の藤沢づくりを実現します

- 市民力と地域力が発揮できる藤沢づくりをすすめます。
- 地域の役割と、行政の役割と責任のもと、協力し合い、地域のみなさんと地域経営会議が中心となった、藤沢らしい地域づくりをすすめます。
- 地区と地区の間にある同じ課題は、地区どうし協力し合って解決します。



基本理念  
2

市民と創る「自律するまち」の行政システムを構築します

- 地域づくりをすすめるため、市役所本庁の予算と権限、そして業務の一部を、市民センターや公民館にうつし拡大します。また、ムダをなくすしくみと新しい行政システムをつくりまします。
- 市民・市民ボランティア・NPO・大学・企業などと行政の知恵と力をあわせ、いっしょに新しい公共をつくりまします。
- 限りある財源と資源を上手に使い、より少ない費用でより高い効果を上げることを常に考えまします。また、将来への投資のために、よりよい財政計画を立てまします。
- 行政はクリーンな市政をめざし、行政の情報を市民のみなさんに示すこと(情報開示)、法を守ること(コンプライアンス改革)や、経済性、有効性で効率的な視点から行政の事務を適切におこなうこと(インテリナル・コントロール改革・内部統制)を積極的にすすめます。



基本理念  
3

協働して広域連携を展開します

- 行政が市民のみなさんにおこなうサービスを共同しておこなうこと、防災、消防、救急の問題解決、都市の交通のネットワーク化や地域経済の活性化などを、市や町どうして協力し合い、すすめていきまします。

よりよい未来を実現していく藤沢づくりにおいて、20年後までの藤沢の都市ビジョンを見てみましょう。

都市  
ビジョン  
1

市民の力が育てる生活充実都市

豊かな生活は、経済の豊かさだけから生まれるものではありません。地域経営※4をすすめるには、私たちひとりひとりの市民力、地域が育てていく地域力、そして行政力のつながりをさらに強くすることが大切です。そうして、市民のみなさんが生活の中に生活の充実感が得られるような都市をめざまします。

生活の充実感



都市  
ビジョン  
2

地域から地球に広がる環境行動都市

温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)の増大による地球温暖化は、世界共通の深刻な問題です。また、藤沢の豊かなみどりや海、大地の環境とともに、歴史・文化をつくってきた環境も、次の世代にのこしていかなければなりません。私たちは暮らしの中で環境の大切さを考えて行動し、地域と行政が協力し合うことで、身近なところから環境を守っていける都市をめざまします。



都市  
ビジョン  
3

さらなる可能性を追求する創造発信都市

藤沢には、市民の暮らしやすさはもちろんのこと、観光資源などすぐれたものがたくさんあります。そうした藤沢らしさの強みと魅力をさらに活かして、「自信に満ちたまち」としていく必要があります。

そのためには、市民・市民ボランティア・NPO・大学・企業などと行政が協力し合い、よりすぐれた産業や新しい産業をつくりたり、「藤沢ライフスタイル」※5や「湘南カルチャー」※6を育てたりすることなどにより、活気あふれる都市をめざまします。



メモ

- ※4 地域経営 : 地域の市民のみなさんが、自然・歴史・文化などの地域資源や魅力を活かして、市民のみなさんが明らかにしたふじさわ未来課題を解決し、暮らしやすさを向上していくための地域のまちづくりをすすめていくことをいいます。
- ※5 藤沢ライフスタイル : 海などの自然や古くからの文化財、地元のお店や食材など藤沢のあらゆる資源に親しみ、たいせつに活かした豊かな生活のしかたをいいます。
- ※6 湘南カルチャー : これまでの文化活動をふくめ、湘南地域の資源を活かした新しい分野や文化の動きのことです。



## 藤沢づくりのめざす9つの方向性

市民のみなさん、地域のみなさんと行政が、都市ビジョンを実現していくため、いまからはじめる9つの「藤沢づくりのめざす方向性」をいちづけました。

これらの方向性にもとづき、基本計画では、「ふじさわ未来課題」と具体的なまちづくりの目標や政策などについて、また、実施計画では、具体的な事業や活動を明らかにしたくわしい取り組みが位置づけられています。

### 1 地域自律型の「藤沢づくり」を育むまち

地域の歴史・文化や資源を活かし、地域をよりよい環境にするために、地区ごとに「その地区らしさ」を活かした地域経営をすすめます。行政は経営改革をすすめ、新たな行政システムにより、市民のみなさん、そして地域のみなさんとともに、市民が主体となるまちづくりをめざします。



### 2 明日の藤沢を担う「藤沢の子どもたち」を育む環境

安心して子どもを産み、育てられる子育て環境と、市民のみなさんが求める教育環境を家庭・地域・学校とが協力し合いながら環境を整え、さらによりよいものに発展させます。



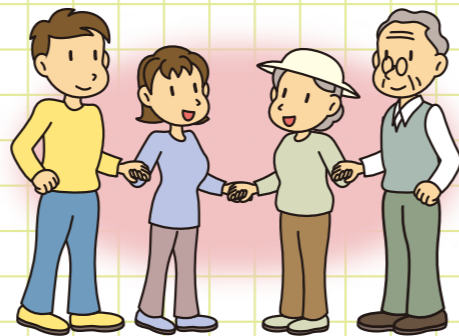
### 3 市民力・地域力による安全で安心して暮らせるまち

一生安心して暮らせる保健・医療(介護)・福祉・健康などの生活環境と、犯罪や災害などへの不安をなくす地域社会をつくります。また、身体(からだ)の健康だけでなく、こころも健やかであるために、生き生きと安心して暮らせる健康づくりをすすめていきます。



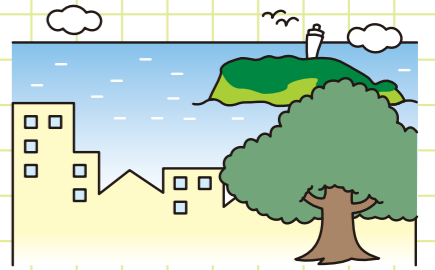
### 4 共に生き、共に創る地域社会の創出

すべての市民のみなさんが差別や偏見をもつことなく、おたがいを認め合い、いつしよに生き、働き、学ぶことができる豊かな生活環境をつくっていきます。そのために人権を尊重し、男のひと、女のひと、お年寄り、障がいのあるひと、若いひとなどもふくめ、みなが積極的に参加できるまち、さらにいろいろな文化がともに生きる穏やかなまちをつくります。



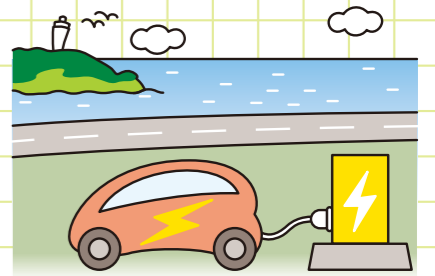
### 5 豊かな地域資源の次世代への継承・発展

藤沢には、豊かな自然環境や景観、また歴史・文化資産など、これまで引き継いできた大切な地域資源があります。そうした地域資源をさらに守り育て、もっと知ってもらい、子や孫まで受け継がれるまちをつくります。



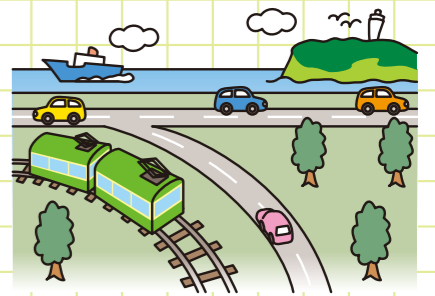
### 6 地球温暖化防止など未来の地球環境への投資

環境問題やエネルギー・食糧などの資源にかかわる課題にも地域で取り組み、いつの時代でもゆたかな環境を維持し活力のあるまちをつくりあげていきます。また、地域の大学や企業の力を活かし、行政といつしよに、すすんだ環境技術を生み出す産業のしくみや、環境にやさしい都市システムをつくり出していきます。



### 7 「藤沢づくり」を支える都市構造の再構築と地域経済の活力再生

産業や生活に必要な都市の機能を高めるため、市の中心的な役割をになう新たなまちの整備や、道路や鉄道などの公共交通をととのえ、それぞれネットワークでつなげていきます。また、市の産業を活性化し、市民のみなさんの働く場をふやし、地産地消<sup>※7</sup>をすすめるため、商業、工業、観光、農水産業などにおいても、市民・市民ボランティア・NPO・大学・企業などと行政が協力し、まちの活性化をすすめます。



### 8 公共資産の維持管理と有効活用

古くなったり、利用されなくなったりした公共施設をつくりかえるときに生じる、市の土地や施設の上手な活かし方を考えます。そのために、いまある施設がどのくらい使えるか、利用されているか、どんな設備や補修が必要かなどを検討して、ムダのない活かし方を考えます。



### 9 「藤沢ライフスタイル」と「湘南カルチャー」の創出

湘南の環境や文化などの「湘南らしさ」が活かされた魅力的なくらし方「藤沢ライフスタイル」や、新しい湘南の文化をつくっていく「湘南カルチャー」を広めていきます。そして、市民ひとりひとりが豊かな心を育み、地域と世界をつなぐ国際交流などをおこないながら「文化にふれあう交流のあるまち」をめざします。



**メモ** ※7 地産地消：その地域でつくられた農産物や水産物を、その地域の中で消費することです。